



ニューサンキング

# らくびお 楽Bio® 通信

2021年  
9月号

## NS 乳酸菌革命記

兄弟姉妹が大勢いる家庭で育つと、子どもはみんなたくましく育ちます。肉体的にも精神的にもそうです。育つ過程で食べ物の取り合いとか、競争が激しいこともあるでしょうが、大きな要因として「菌の交換」ということも指摘できます。

このことは、家族の人数と家族の健康レベルを比べましたら、はつきりと出てきます。中国では長く一人っ子政策が行われていて、いろいろな問題が生じることが予想できます。一人っ子の場合と、五人兄弟の子の場合を比較すると、一人っ子の家族は子どもから親まで、みんな健康レベルが低いことが明らかです。

子どもの多い家族は非常に健康です。間違いなくそういう結果になります。なぜかという点、子どもの多い家庭は容易に菌交換ができるからです。自分の菌を兄にあるいは妹、弟に・・・。一つ屋根の下で暮らすという点になります。

一人の人間の行動範囲は限られています。五人兄弟姉妹なら、それぞれが五人分の菌を保有できます。一人っ子ですと、親が子どもを大事にしすぎて、かえって病気になるやすい状態をつくってしまいます。こ

のことは一人っ子の方にアトピー性疾患が多いことから証明されています。

ところで遺伝子の数を植物と哺乳類で比較すると、じつは植物の方が多のです。ポプラの遺伝子は人間の二倍以上あります。イネは人間の1.7倍、小麦は五倍もあります。通常、遺伝子が多いほど、生物としての多様性があると考えられるのですが、どのポプラの木も区別がつかないほど似ています。人間の方は身体の形、大きさ、顔つき、一人ひとり違ってきます。

この多様性の違いはどこからくるか。動き回ることから考えると考えられます。ポプラの木は一か所に根を張っていて、動くことも動けません。つまり、欲物は独立して成長するためにも、環境に適応するように多くの遺伝子をもちますが、哺乳類は遺伝子が少なくても頻繁に移動すること、共生菌などの遺伝子による影響で、環境適応することができるのです。

人間はポプラよりも遺伝子の数が少なくても、多様性で大きな差が出るのは、菌の量と質に決定的な違いがあるからです。兄弟姉妹の多少も、この人間とポプラの多様性の差と同じようなことが起こっていると考えられます。

夫婦が長く一緒に暮らしている、考え方から好み、顔つき、しゃべり方までほとんどん似てきます。これは身近で接触して、身体にのせている菌がほとんど一緒だからです。ここから菌の共有がたんに健康レベルだけにとどまらず、精神的なものにまで及んでいることがわかります。

清潔にするという考え方にとらわれ過ぎると、あそこもここも清潔にしなければと際限がなくなってしまう。いま子育て中のお母さんに必要なことは、子どもを守る意味でも、正しい衛生観念をしっかりと身につけることです。正しい衛生観念が身につけば、ただ汚いといって、排除するのではなく、時々汚い場所ですら遊ぶことも必要だという意味がわかってくる。

小さい子どもたちは、土や砂遊びが基本的に大好きです。神経質なお母さんは、そういう子どもたちを厳しく止めますが、もし子どもをアレルギー性疾患にさせたくないなら、もっと砂遊びをさせるべきです。

砂遊びは土に触れるという点で、一番よい方法です。私は、最初に汚れていない砂を運んできて砂場をつくり、そこに人間と親しい共生菌を混ぜて、子どもたちを思い切り遊ばせるのがよいと考えます。

共生菌としては、土壌菌、枯草菌、乳酸菌がよいでしょう。複数の菌を混ぜてそこで遊ばせれば、手足から顔、背中、胸、髪の毛、呼吸を通じて体内まで、よい菌をたくさんさせることができます。

そうやってよい菌でコーティングできれば、多少不潔な場所で悪い菌をもち帰っても、病気になったりしません。むかしの人たちが元気だったのは、土と接触する機会に恵まれていたからと言えます。中国でもそうですが、いま都会では一日中動き回っても、一度も土に触れない、土の地面を歩かないというのが普通になっています。大人がそうなら、子どもたちだって同じです。

「NS 乳酸菌が病気を防ぐ」より抜粋



大草原に暮らす馬たち  
撮影：西村幹也 (NPO 法人しゃがあ)



お客様の声  
ページ→

※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

1粒。2粒3粒と入れてます。  
(ヨーグルトで作り直してます)  
○7月 歯が  
○歯根が大部 脱落しました。  
歯は抜けました。

毎晩、寝る前に2粒ずつ。  
※通常は NS-MAX の方  
食べ過ぎ時、腸が物音を気にしては NS-Slim と  
その時の胃腸の状態に合わせて飲み分けていた  
3年ほど。  
それまで寝起きの悪さ、便秘が、朝の目覚めがとても  
良くありませんでした。口内炎もほとんどなくなりました。  
気管支炎を患って抗生物質を飲まざるを得なくなった時、  
ヨーグルトの乳酸菌と一緒に飲むと  
それまで抗生物質の服用時にあった吐き気、便秘の症状が  
まよって出ませんでした。  
現在、睡眠中につき 自分のためだけでなく生まれてくる  
我が子のためにも快腸生活を続けていきたい  
と思っております。

# 「大草原の乳酸菌」 お客様の声

50代・女性・東京都在住

60代・女性・東京都在住

ラクアでは昨年「クリスマスケーキを1型糖尿病の子どもたちへ届ける」というシェアイト様の活動を支援させて頂きました。その活動記録のDVDには、ケーキを嬉しそうに食べる子どもたちとその親の笑顔がたくさん映っていました。今後もたくさんの方の笑顔を生み出す活動を支援していきたいと思えます。



「クリスマスケーキをとどける」(DVD)



「Precision Medicine」(2021年9月号)  
大草原の乳酸菌が掲載されました



「元氣読本」(2021年8月号)  
NS 乳酸菌が掲載されました

# メディア掲載

高齢もあつてか歯肉炎がひどく、鼻水も膿のような状態でニオイもとてもきつく、病院でフラジールという抗菌薬を処方されました。飲むと緑色の鼻水の様子が落ち着くのですが、長期間飲むのはあまり良くないと先生に言われていたので半年ぐらいで中止しました。乳酸菌が抗生剤の役割があると知り「大草原の乳酸菌 NS-Mist」を購入。朝晩のごはんの時に5〜6プッシュほど水にかけてあげてみると、3日目ぐらいから、あの大量に出ていた鼻水が減り始め、膿のニオイがピタリとなくなると、とにかく驚きました。下の3歳の子(同犬種)にも歯肉ケアで口の中に1〜2プッシュしています。そのせいかニオイもなく、歯石もつかず、歯もきれいです。



ミニチュアダックスフンドのぐーちゃん(13歳)に「大草原の乳酸菌 NS-Mist」を使用した感想です。

# NSミスト感想

## しゃがあの日蒙文化交流支援

ラクアが支援している日蒙文化交流活動です。賛助会員を募集しております。



## バンベンの砂漠緑化支援

ラクアが支援しているモンゴル地方の植林活動です。



## NS乳酸菌で良質な堆肥づくり

岐阜県高山市で NS 乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)スピリットが推進する持続可能な社会的農業を応援しています。



## 笑顔プロジェクトで子ども食堂支援

笑顔の自画像イラストを作成することで、作成費用の一部が「子ども食堂食材支援」に使用されます。ぜひ笑顔プロジェクトにご参加ください。



■ 電話でのご注文・お問い合わせ

フリーダイヤル  
**0120-098-529**

※受付時間/9:00~21:00 (土日祝日も承ります)

■ ホームページでのご注文・お問い合わせ

大草原の乳酸菌 検索



大草原の乳酸菌



楽Bio通信